

～鳥取型「新しい生活様式」実践向け～

令和2年6月15日作成  
(令和3年8月13日更新)  
鳥取県くらしの安心推進課

# ライブハウスにおける

## 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

新型コロナウイルスに感染しないように営業を継続するため、ライブハウスが実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある感染リスクへの対策例を整理しました。

皆さんの施設の状況や実情等にあわせて実践してください。

※ この対策例は最新の情報に基づき適宜更新していきます。

### LINEによるとっとり新型コロナ対策安心登録システム

このシステムにより発行されたQRコードを店舗に設置することで、店舗利用者がQRコードを読み込んだ店名、日時、LINEアカウントが県に登録されます。利用者が新型コロナウイルスに感染した可能性があるとして判断された場合、県からその情報をお知らせし、感染拡大防止に向けたお願いなどを案内します。

店舗へQRコードを掲示していただき、来店者に登録を促すようにお願いします。



### クラスター対策条例を制定しました（令和2年9月1日施行）

小規模な集団感染(クラスター)を起こさないようにガイドラインに沿った感染予防策を実施しましょう。万が一、店舗でクラスターが発生した場合は、感染拡大防止のため次のようなことをお願いする場合があります。

- ①事業者は、直ちに施設・店舗等の使用を停止し、保健所の指導に従って消毒等を行うよう要請する。
- ②利用者に連絡がつかない場合は、店舗の名称を公表する。

### 新型コロナウイルス対策認証事業所制度

新型コロナ対策について自ら取り組む事業所を対象に、県が審査し認証を与える「認証事業所制度」を設けています。



新型コロナ対策で安全とおもてなしにつながる事業所へ、認証取得を県がサポートします。詳しくは、県庁くらしの安心推進課までご相談ください。

問合わせ先  
新型コロナ克服くらしの  
安心相談・応援窓口

東部 県庁くらしの安心推進課  
中部 中部総合事務所環境建築局  
西部 西部ワンストップセンター

☎0857-26-7982  
☎0858-23-3982  
☎0859-31-9637

## 正しい手洗いの方法



## 正しいマスクの着用



## 新型コロナ克服5カ条



## 消毒液の種類と用途

主な用途

石けん・ハンドソープによる手洗い **手指**

アルコール（60%以上95%以下） **手指**  
**物品**

塩素系漂白剤等 **物品**  
（次亜塩素酸ナトリウム 0.05%以上）

※ 以下を参考に、市販の塩素系漂白剤（主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの）を薄めてください。  
また、商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。

- ①ハイター、キッチンハイター（花王）  
水1Lに25mL（商品付属のキャップ1杯）
- ②ブリーチ、キッチンブリーチ（ミツエイ）  
水1Lに10mL（商品付属のキャップ1/2杯）

※ 樹脂製の手袋をつけて取扱いましょう。皮膚についた場合、ただちに水で洗い流しましょう。

※ 腐食性があるので、金属へ使用した後は必ず水拭きしましょう。

## 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店への参加

県版や業界ガイドラインを基に感染予防対策に取り組む事業者を、ステッカーの掲示や県HP（とりネット）に掲載して利用者にお知らせしています。

※ 協賛店の事業者の皆様は、

- ① 協賛店の証であるステッカー
- ② 感染予防対策協賛店実施内容

を利用者の見やすい場所に掲示しましょう。

※ 随時募集中です。まだの事業者は是非、参加しましょう。



## 店舗の営業場面ごとの感染拡大予防対策

- ・ 令和3年7月から第5波が到来し、デルタ株等による感染爆発の事態となっています。ライブ演奏のある飲食店では大規模なクラスターが発生したことから、ステージと観覧スペースをビニールカーテン等で遮蔽したり、換気頻度を高めるなど、緊急に感染防止対策の強化をお願いします。
- ・ 公演主催者に対して、お客様が声援や歓声等の声を出すイベントの場合は、密集を避けるため会場定員の50%以下の集客とするよう要請しましょう。
- ・ これまでの同様の出演者による開催実績や類似イベント等により、お客様が声援や歓声等の声を出さないとわかるイベントの場合は、会場定員の50%を超える集客が可能です。ただし、参加予定者数が5000人以上の場合は、会場定員の50%以下の集客とするよう要請しましょう。

※ただし、県が確保するコロナ対策の病床全体の現時点確保病床占有率が25%以上の場合は、全てのイベントで定員の50%以内とする必要があります。現在の状態は、県が公表する「新型コロナウイルス感染症対策分科会が提言した「ステージ移行を検知する6指標」と鳥取県の現状」をご確認ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1244905.htm#itemid1244905>

- ・ その他、公演イベントを開催する場合は、「公演イベントにおける事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、イベント主催者と協力の上、来場者に大声を出したり、大騒ぎしないよう呼びかけして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

### 1 開場準備

- ・ 公演に関するリハーサル、撤去等に十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。
- ・ スタッフに出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフは自宅待機させましょう。
  - ▶ **スタッフの体調不良を事前に把握することが重要です。出演者も同様です。**
- ・ 感染したスタッフや濃厚接触者と判断されたスタッフの就業は禁止しましょう。
  - ▶ **体調不良の方が申し出られるよう、休暇を取りやすい環境・体制を作りましょう。**
- ・ 開場に備えて施設及び会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
  - ▶ **空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。**
    - ① **窓を開けても風が入りにくい場合の工夫**  
空気が入ってくる窓を小さく、空気を外へ出す窓を大きく開けて空気の流れを作りましょう。
    - ② **窓がない場合の工夫**  
換気口も無い場合は、ドアを開けて扇風機、サーキュレーターなどで部屋の外に空気を出す流れを作りましょう。また、換気口がある場合は、ドアを開けて扇風機、サーキュレーターなどを換気口に向け、部屋の中に空気を流れ入れる環境を作りましょう。
- ・ 観覧スペース内の観客は、定員の50%未満とし、フィジカルディスタンス（1m以上）を確保しましょう。
- ・ 観覧スペースに客席を設ける場合、人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保できる配席にしましょう。客席を設けない場合は、フィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安を示しましょう。



- ・ 出演者が声を発生する演劇やコンサートの場合、ステージと観覧スペースの間を透明ビニールカーテン等で遮蔽しましょう。
  - ▶ 飛沫感染を防止することが重要ですので、観覧スペースでは大声を出したり、大騒ぎしないようにしましょう
- ・ 演奏機材の搬入、出演者等の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
  - ▶ 出演者やスタッフを感染リスクから守ることも重要です。施設裏口等を活用しましょう。
- ・ お客様が会場内で密集しないよう、行列が想定される場所にはフィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安を示したり、距離をとっていただくよう掲示をしましょう。
  - ▶ 会場入口、トイレ、ロッカー、物販ブース等、混雑が想定される場所の対策を行いましょ。
  - ▶ 立ち位置の目安が示せない場合は、お客様同士でフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。
  - ▶ トイレの混雑対策として来場前に用便を済ますように事前に呼びかけたり、掲示を行いましょ。
- ・ トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。
- ・ 楽器、モニタースピーカー等のライブハウスが準備して演者が共通して使用する機材も入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。
  - ▶ 機材を取り扱うスタッフを限定して、機材への接触を減らすことも有効です。
- ・ 出演者やスタッフは来客用のトイレの使用を控えましょ。
  - ▶ 接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょ。
- ・ 感染予防対策に万全を期していることや具体的な対策をスタッフで共有しましょ。
- ・ 公演主催者と相談して、施設の規模や換気性能に応じて、公演中の定期的な会場換気のための休憩回数や休憩時間を予め設定しましょ。
- ・ 公演主催者に、接触（モッシュやハイタッチ）や声援（コール&レスポンス）等の密集・密接を惹起する演出は控えるよう呼びかけましょ。
- ・ 公演でのアルバイト採用者や公演主催者の緊急連絡先を把握し、関係者の感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力しましょ。
- ・ 施設内でスタッフが密集せず、事業継続できるシフトを決めましょ。
- ・ 発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示をしましょ。
- ・ 感染予防のためサービス内容の変更・中止も検討しましょ。
  - ▶ サービス内容を変更・中止する場合は、その旨を掲示しましょ。
- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店はステッカーとチェックリストを入口に掲示し、協賛店となる際に宣言した感染防止対策を徹底しましょ。
- ・ 鳥取県新型コロナ対策認証事業所はステッカーを入口に掲示し、認証店となる際に宣言した感染防止対策を徹底しましょ。
- ・ 厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の起動を呼びかける掲示物や、「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の登録を勧めるQRコードをレジ、待合や客席に掲示しましょ

う。

## 2 チケットの窓口販売

- ・ 購入待ちでお客様が密集しないようチケット販売窓口前に立ち位置を示して、間隔をあけて並んでいただくよう呼びかけましょう。
- ・ 直接の対面を防ぐためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
- ・ 来場者の氏名や緊急連絡先を把握できるチケットシステムや電子決済を活用しましょう。現金等を扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましょう。

## 3 入場（開場）

- ・ チケット確認するスタッフはマスクを着用するなど咳エチケットを実践するとともに、直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
  - ▶お客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。
- ・ 会場出入口や物販スペースでお客様が密集しないよう、間隔をあけて並ばせたり、チケット番号等により入場できる時間やグッズを購入できる時間を設けるなどの対応をしましょう。
- ・ 出演者が直接お客様に物販する場合は、出演者にマスクを着用させ、握手等の接触を控えるよう要請しましょう。
  - ▶開場から開演までの時間を長めにとって、入場や物販の混雑を緩和しましょう。
- ・ 来場時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の入店はお断りしましょう。
  - ▶お客様の体温確認のため、非接触型の体温計の導入も検討しましょう。
- ・ 来場時にお客様がマスクを着用していることを確認し、食事中以外はマスクを着用するよう要請しましょう。
  - ▶マスクを持っていないお客様に備えて、提供できるマスクを用意しましょう。
- ・ 来場時に厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の利用及び「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の登録を推奨しましょう。
- ・ 出入口や会場入口に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請しましょう。
  - ▶施設内での手指の洗浄や消毒の励行も呼びかけましょう。
- ・ お客様に、パンフレット等を手渡しで配布することを避けるとともに、出演者へのプレゼントも受け付けないようにしましょう。
- ・ お客様に、施設や会場内外での大声の発生や過度な飲酒は控えていただくよう要請しましょう。
  - ▶施設内放送による呼びかけ等も有効です。
- ・ お客様がロッカー付近で密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保できるだけのロッカー数を予め設定し、使用について予約制を取り入れましょう。
- ・ お客様が会場に入場した後も施設及び会場の扉や窓を開けるなど、公演開始直前まで施設全体の換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。

- ・ お客様に、公演中は公演主催者の感染拡大予防対策に従うよう呼びかけましょう。

#### 4 食事（該当する場合）

- ・ 食事を提供する場合は、「飲食店における事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

#### 5 公演中

- ・ 換気扇を常時稼働させるとともに、開場の窓やドアを開け、給気と排気を確保しましょう。
- ・ 休憩時間に施設及び会場の扉や窓を開けるなど、定期的に施設全体の換気をしましょう。
  - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・ 観客は、常時マスクを着用し、大声を出さないよう要請しましょう。

#### 6 退場（閉店）

- ・ 会場出入口や施設出入口でお客様が密集しないよう、チケット番号等による規制退場を誘導しましょう。
  - ▶ 退場する際もお客様同士で間隔をあけていただくよう呼びかけましょう。
- ・ 会場を出た後は、お客様が施設内外で密集しないように速やかな帰宅を呼びかけましょう。

#### 7 閉店後

- ・ 明日の公演に備えて、施設及び会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
  - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇、扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・ 店舗内清掃を徹底し、トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分や、楽器、モニタースピーカー等のライブハウスが準備して出演者が共通して使用する機材は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・ スタッフのユニフォームや衣装はこまめに洗濯しましょう。
- ・ ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。

#### 8 店舗の管理

- ・ 換気設備を定期的に点検しましょう。
- ・ 洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう呼びかけましょう。
- ・ ハンドドライヤーの使用は控えて、ペーパータオルを活用しましょう。
- ・ ゴミは蓋つきのごみ箱に入れて密閉しましょう。
- ・ 出演者の控え室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底しましょう。
- ・ 控え室等では、使い捨ての紙皿やコップを使用しましょう。